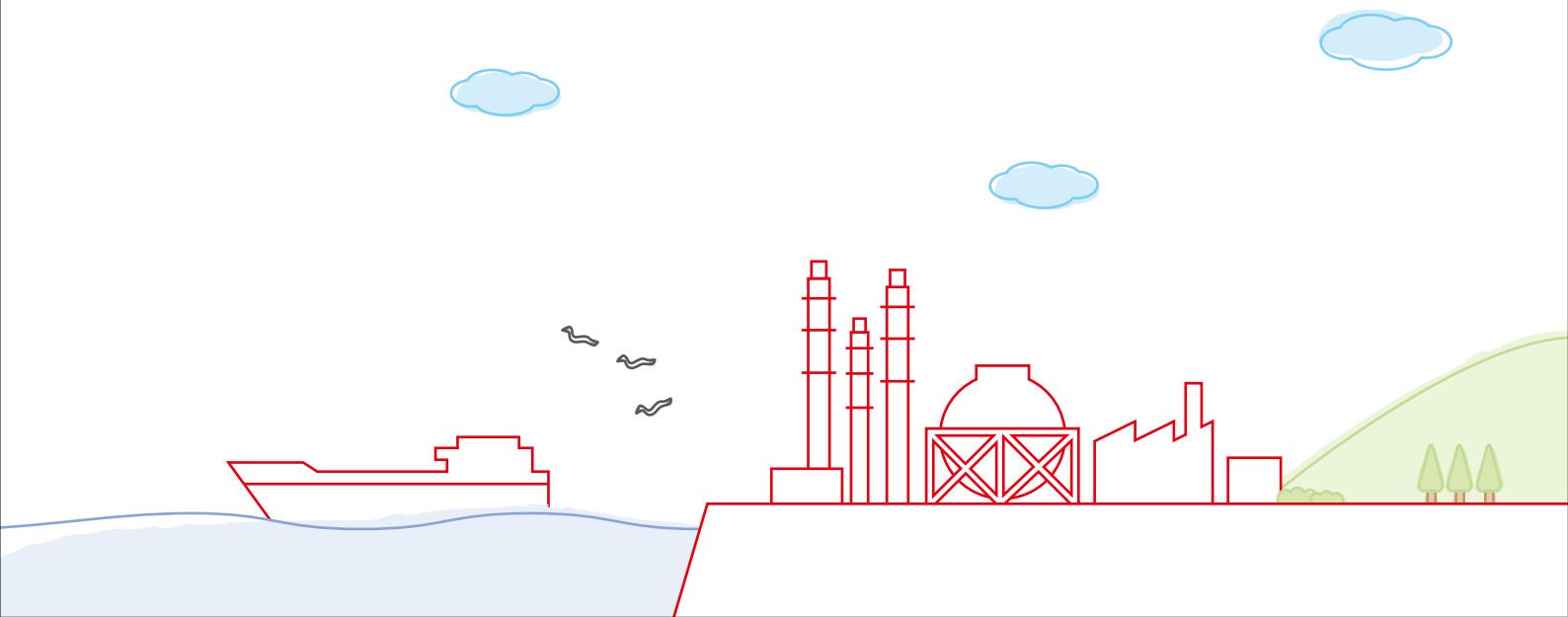


CSR報告書 2011
CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT



経営理念

21世紀社会に貢献する 創造的、個性的な企業集団をめざし 人を活かし、技術を極め 未開の領域に挑戦し続けます。

地球環境への配慮と国際社会での良き企業市民であることを念頭におき、21世紀においても世界的に高く評価され、社会から求められる大同グループを創造していくことを大同特殊鋼社員共通の目標とします。
そして、その目標実現のための基本を「人」と「技術」と「フロンティア精神」におきました。

「人を活かし」とは

人を尊重し、従業員一人ひとりが働き甲斐を感じ、社員の幸せと社会の発展が調和するような経営をめざしていきます。

「技術を極め」とは

当社は今後とも「ものづくり」により社会に貢献することが経営の原点であり、そのために常に最高の「技術」の追求が私たちに課せられた使命であります。

「未開の領域に挑戦」とは

単に新事業や新製品に挑むことにとどまらず、一人ひとりが勇気と情熱を持って新しいことに取り組む「フロンティア精神」を日常の仕事の中で実践することです。

この理念を実現していく原動力は、従業員一人ひとりの強い意気込みと責任ある行動であるといえます。

クッチャロ 自然の森だいでう

日本最北端の地、宗谷岬から南へおよそ80キロ。北海道枝幸郡浜頓別町にあるクッチャロ湖は、1989年日本で3番目にラムサール条約*登録湿地に指定され、手つかずの自然が多く残る北緯45度の秘境です。毎年春と秋には数万羽のコハクチョウが羽を休める中継地となり、冬にはオオワシや絶滅危惧IB類(EN)指定のオジロワシなど、さまざまな渡り鳥が飛来します。

この貴重な湖のほとりに、当社は土地を所有しており、森林の維持・保全に努めています。

2005年、当社はこの湖のほとりにある社有林を「クッチャロ 自然の森だいでう」と名づけ、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとし、社会貢献活動のひとつとして環境教育などさまざまな環境活動を展開しています。

*ラムサール条約:水鳥の貴重な生息地である湿地を保護する国際条約



CONTENTS

ハイライト版



02 大同特殊鋼と社会の関わり

04 トップメッセージ

06 特集1 大同特殊鋼の環境への取り組み

地球環境とともに



08 特集2 大同特殊鋼の安全への取り組み

安全のために



10 2010年度の主なトピックス

12 会社情報



全体版で、より詳しい情報や各種データをご覧頂けます。

WEB <http://www.daido.co.jp/csr/data/report.html>

編集方針

企業は、社会の一員として、環境はもちろん社会全体の持続的発展に貢献することが求められます。当社では、こうした企業活動における社会的責任を包括的に伝えるツールとして、2006年度から環境報告書に代えてCSR報告書を毎年刊行しています。

対象と範囲

本報告書の閲読対象は大きく分けて、当社のステークホルダー（お客様、株主・投資家、従業員、地域社会など、当社事業に関わるすべての方々）、公共機関、メディア、教育関係などを想定しています。報告対象範囲としては、社会性報告、環境性報告、経済性報告というトリプルボトムラインに沿ってカテゴリー分けをしています。

報告対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日

報告書発行日

2011年10月(前回発行2010年10月)

大同特殊鋼と社会の関わり

特殊鋼は、原料のほとんどが鉄スクラップを主体としたリサイクル品であることはご存じですか？

社会での役目を終えた鉄鋼製品が、スクラップ原料となって新たな製品に生まれ変わります。リサイクルされたスクラップ原料に色々な種類の合金を加えることで異なった特性を有することができる特殊鋼は、社会の中のさまざまな分野で活用されています。自動車や航空機のほかにも、エネルギーサポートやリサイクル、医療分野まで幅広いラインアップの製品を生み出している私たち大同特殊鋼は、環境負荷低減と未来志向の製品開発のため日々挑戦し続けています。

私たちが大切にしていること

1

確かな技術力と品質を提供する

技術力や品質はもとより、コストや納期、それら複数の要素に磨きをかけ、今持つことのできるすべての力を結集した製品を提供することで、お客様のニーズに応え、選ばれ続ける会社を目指していきます。

リサイクル(環境):炭化炉

下水処理の過程で発生する汚泥を資源へと変える「下水汚泥炭化処理システム」。以前は焼却や埋め立て処分されてきた下水汚泥を炭化物にすることにより、地球に優しい肥料や燃料に生まれ変わらせることができます。



エネルギー:タービンディスク

火力発電の心臓部であるガスタービン用部品には、過酷な環境下における半永久的な耐久性が要求されます。当社のタービンディスクは、高温強度、高耐食性、高靱性などを備えており、電力エネルギーをより効率良くまた安定的に供給するために役立っています。



航空機:エンジンシャフト

大空を行き交う飛行機。そのエンジンの中心を貫くのがエンジンシャフトです。エンジンメーカーの厳しい製造認定を取得した当社の航空機エンジンシャフト用素材は、高い熱効率で燃費が良いエンジンを実現させ、また高強度と優れた靱性で航行時の安全を支えています。



私たちが大切にしていること

2

新たな領域に 挑戦し続ける

単に新事業や新製品を生み出すことが新たな挑戦ではありません。未知の分野へは勇気をもって、未開の領域へは情熱をもって、未来を先取りし、これまで培った幅広い知見とともに、人にも地球にも優しい素材を開発していくことが、これからの私たちのものづくりを支えていくのだと考えています。

私たちが大切にしていること

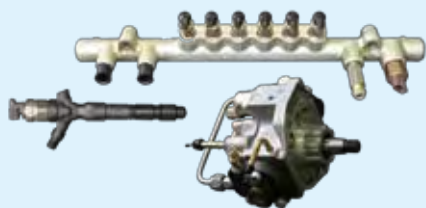
3

出る杭に なろう

変化を恐れず現状を変えていこうとする力、まさに「出る杭」になることが、高い技術力や新しい挑戦を後押しする原動力となります。「出る杭」が打たれず、従業員一人ひとりがやりがいをもって日々の業務に取り組んでこそ、社会と調和した企業となり得るのだと考えています。

自動車：コモンレール用鋼

コモンレールとは、ディーゼルエンジンの熱噴射技術の一つです。コモンレールシステムにより、黒煙を出し大きな音で走るディーゼル車を、低燃費で排ガスもクリーンな低公害車に変えることができました。当社の鋼もその一翼を担っています。



医療：医療用チタン

たとえば骨折をしたとき、骨と骨をつなげるためチタン製のプレートが埋め込まれます。チタンの特性である「軽量」「人体に無害な生体適合性」「MRI診断も可能な非磁性」などは、医療器具に最適です。当社ではその素材を製造し、医療分野でのさまざまなニーズに対応しています。



HOSPITAL

トップメッセージ

持続可能な未来のために
“ものづくり”を通して社会に貢献していきます。



3月11日に発生した東日本大震災によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興がなされますようお祈り申し上げます。

この未曾有の災害に対し、大同特殊鋼グループは、お客様やお取引先へ滞りなく製品を供給できるように生産活動の正常化に向け、グループ一丸となって取り組んでまいりました。また今後高まっていくであろう復興需要についても、最大・最優先の対応を行い、早期の復興に貢献していきたいと考えております。

地球環境の保全と循環型社会の形成を目指して

私たちが住むこの地球は、あらゆる生命を生み育む大切な家といえます。この大切な家を次の世代へつないでいくためには、今あるさまざまな環境問題に真摯に取り組み、解決への道を見出すためのあらゆる努力が求められるのではないのでしょうか。特に、当社のように製品を生み出すために多量のエネルギーを消費する製造業は、その取り組みにおいて、率先して行動すべきであると考えています。

大同特殊鋼グループでは、CO₂排出量のさらなる削減を目指し、操業改善や歩留改善、都市ガスへの燃料転換など、生産プロセスにおける環境・省エネルギー対策を推進しています。また、当社独自の技術を活かした環境対応製品の開発・拡充も積極的に進めてまいります。これからも、特殊鋼という素材を通して、地球環境の保全と循環型社会の形成に貢献していきます。

持続可能な未来社会のために

当社のCSR活動の基本は、社会面、経済面、環境面のトリプルボトムラインを軸に、あらゆる方面のステークホルダーの皆さまとともに、よりよい社会を築いていきたいという思いから成り立っています。企業の果たすべき責任は、激変する経営環境やグローバル化を背景に、より大きく、多様化してきています。そのような中でも、お客様から、そして社会から選ばれる会社であり続けるためには、現状におごることなく、誠意をもってステークホルダーの皆さまに接しなければならないと考えています。お客様、お取引先、投資家・株主の皆さま、地域社会および従業員、その他すべてのステークホルダーの皆さまの期待や要望にお応えするための努力を続け、ともに持続可能な未来社会へと前進することが私ども大同特殊鋼グループの果たすべき社会的責任と認識しています。

当社が生産する特殊鋼の用途は、自動車や航空機、船舶、産業機械、発電インフラ部材、IT機器、医療など多方面にわたります。私は、これらすべての製品がその性能や特性を大きく発展させ、持続可能な未来社会を支えていくものと確信しています。

“ものづくり”は“未来づくり”。このことを念頭におき、よき企業市民としての社会的責任を果たしていきたいと考えています。

このCSR報告書を通じまして当社の活動内容をご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長

嶋尾 正

特集1 大同特殊鋼の環境への取り組み

地球環境とともに



今から約95年前、当社は特殊鋼の製造と同時に工業炉の設計・製作もスタートさせました。工業炉のユーザーが自らその製作も手掛けることで、より高品質な素材を造り出す設備を開発することができ、当社の工業炉製作技術も発展してきました。そして現在。環境負荷低減のため、その設備自体が地球環境の保全に役立つことも、当社の環境活動にとって大切な要素です。この真空浸炭炉は、高品質な熱処理技術を提供するとともに、CO₂の排出量削減も実現させ、地球温暖化対策に大きな効果を発揮する設備です。

省エネルギーおよびCO₂排出量削減のために

●真空浸炭とは？

鋼(はがね)は、強度と加工のし易さから社会基盤に必須の素材ですが、そのパフォーマンスを最大限に引き出すのは「熱処理」と呼ばれる工程です。当社が販売する真空浸炭炉「モジュールサーモ」は、自動車や産業機械のギヤなどに浸炭焼入という熱処理を行うための設備として開発されました。

真空浸炭には、製品が酸化しない、処理時間が短縮できるなどの特長がありますが、熱処理の最適条件を求めるのが難しいため使い勝手が悪く、ユーザーが導入する際のネックになっていました。

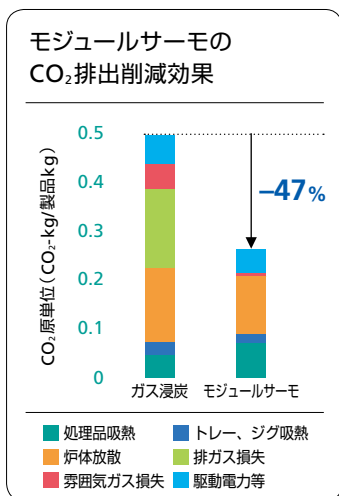
この課題を解決するため、当社は得意とする材料技術を応用して真空浸炭のメカニズムを解明し、複雑な浸炭条件をパソコン上の計算によって誰でも簡単に求められるシステムを開発しました。この開発成果によって、現場の熟練に頼ることなく製品の品質は確保され、同時に無駄な浸炭ガスを節約することによって炉の汚染を防止し、設備の安定操業が実現されます。



モジュールサーモ(本田技研工業株式会社 浜松製作所様納入)

●抜群の省エネ性能

モジュールサーモを納入した本田技研工業株式会社 浜松製作所様において、製品重量当たりのCO₂排出量を測定したところ、既設の連続ガス浸炭炉と比べて47%もの低減効果が確認されました。これは、浸炭ガスの使用量が100分の1以下であることと、休日中の待機エネルギーがきわめて小さいことによって達成されました。さらに、休日の設備の監視にかかる変則勤務が不要となったり、経験のない作業者が短期間の教育で現場に入れるようになるなど、労務上のメリットについても高い評価をいただきました。



※電力量のCO₂排出係数=0.417 [CO₂-kg/kWh]
2009年度中部電力速報値



優秀省エネルギー機器表彰式

● 資源エネルギー庁長官賞受賞

モジュールサーモは、平成22年度(第31回)優秀省エネルギー機器表彰制度において資源エネルギー庁長官賞を受賞しました。これは、モジュールサーモの高い省エネ性能に加えて、浸炭条件の決定過程をパソコン上のプログラムに取り込むことでスキルフリー化を実現したこと、さらに浸炭ガスの適時・適量制御によって高品質と安定操業を両立したことが高く評価されたもので、まさに当社の材料技術とエンジニアリング技術のコラボレーションによる成果と言えるものでしょう。

この受賞をはずみに、モジュールサーモの一層の普及と、それにとまなうCO₂排出量削減が期待されます。



優秀省エネルギー機器

資源エネルギー庁長官賞
平成22年度 日本機械工業連合会

VOICE

当社のモジュールサーモは、国内の真空浸炭炉としては最後発で参入しました。そのため先行する商品の問題点やユーザーのニーズを洗い出して、どこにも負けない商品に仕上げることができました。一方で、実績と知名度のないところからスタートした営業活動は困難も多く、今でも業界セミナーでの講演や雑誌への投稿など、さまざまなメディアを活用して、浸透を図っています。

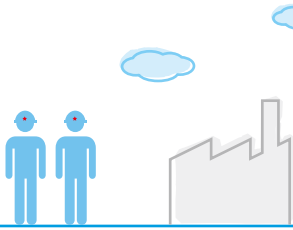


機械事業部営業部 名古屋機械営業室 副主席部員
堀 哲

特集2 大同特殊鋼の安全への取り組み

安全のために

当社は、「安全は全てに優先する」という理念の下、従業員の安全確保の為に、危険予知能力・危険回避能力を高める危険体感教育を積極的に推進し、日々安全活動に努めています。



安全快適な職場環境への意識向上



●はじめに

危ないと感じる感性はどのように育てられるのでしょうか？

普段の何気ない作業の中にも重大な危険が潜んでいることはたくさんあります。この危険を「体感」することで、いかに危険なことを平気でやっていたかを気づかせる。これを身体で学ぶのが「危険体感塾」です。

また一歩先、一秒先には更に重大な危険が待っているかもしれません。

この危険を先読み・深読みして見つけ出す力を育てるのが「危険予知塾」です。



●「危険体感塾」について

当社では、自社内において危険体感教育を実施するため、知多工場(2008年4月)、渋川工場(2010年5月)に「危険体感塾」を開講しました。

普段はなかなか体感できない挟まれ・墜落・爆発など、重篤な怪我につながる可能性の高い災害を疑似体感することで、不安全行動・不安全状態の恐ろしさを再認識し、ルール・手順を守ることの重要性を理解させながら、個人の安全感性を高めることに努めています。

それぞれの体感塾では、長年にわたり生産現場を支え危険を知りつくしたベテラン従業員が試行錯誤を重ねながら豊富な体感メニューを考案し、日々進化させています(知多工場:44項目、渋川工場:35項目)。

そしてこのベテラン従業員自らが講師となり、後輩に対して熱意をもった指導を行っています。

なお、知多工場では、開講以来約3年半で延べ1万人の受講を達成しました。





●「危険予知塾」について

当社のような鉄鋼業では、膨大なエネルギーを使用し、多種多様な生産工程を有する製造現場があります。このような製造現場では、多くの危険が潜んでおり、時々刻々と危険内容が変化しています。また生産環境変化によって配置転換や多能工化が進み、これまで経験したことのない危険をいち早く見抜かなくてはならない状況も増えています。

重篤な怪我を未然に防ぐため、こういった職場に潜む「危険」「異常」「変化」を見抜く力を向上させることは大変重要となります。

知多工場では、この「危険を見抜く力」を育てるために、2010年7月に「危険予知塾」を開講しました。不安全行為・行動、不安全状態を立体的に再現し、「何が危険なのか？なぜ危険なのか？」という観点で危険を見つけ出す訓練を行っています。

災害の恐さを気づかせる「危険体感塾」と、危険を考え、見抜く力を養う「危険予知塾」を重ねて受講することは、当社の安全教育に大きな相乗効果をもたらしています。今後もこの2つの体感教育を中心にして、安全意識の高い人材の育成に努めていきます。

今後とも、従業員の安全確保のため、また安全職場の醸成のため、危険予知能力、危険回避能力を高める「危険体感塾」、「危険予知塾」での教育を積極的に推進しながら、企業としての責務である労働災害の撲滅に努めていきます。

VOICE

知多工場の「危険体感塾」は、災害の疑似体験の場をつくり、「手順・ルールを守る理由」を体感を通じて理解する場です。従ってここでは、ルール・手順の暗記ではなく、実際に体感して「なぜそうしなければならないのか？」を理解できる教育を実践しています。

また変化する職場に合わせ、体感メニューも進化させてきました（開講時は28項目。現在は44項目まで増加）。2010年には「危険予知塾」も開講しています。この「危険体感塾」「危険予知塾」の更なる熟成を目指し、担当講師全員で更なる努力を重ねていきます。



知多工場安全推進チームメンバー

2010年度の主なトピックス



省レアアース磁石

TOPIC 01 環境負荷低減への取り組み

限りある資源を効果的に使うため、省レアアース磁石を開発しました

当社とグループ会社である株式会社ダイドー電子は、高磁力と耐熱性を兼ね備えた世界最高性能の省ジスプロシウム型ネオジム系ラジアル異方性リング磁石を開発しました。

新しく開発した熱間塑性加工法により、ナノレベル(ナノは100万分の1ミリ)の結晶粒を高度に配向させることで、ジスプロシウムの使用量を焼結磁石の約半分にし、世界最高レベルの高磁力と耐熱性を実現しました。ジスプロシウムは、自動車用電動パワーステアリングや産業機器などの中小型モータに幅広く使用されるネオジム系ラジアル異方性リング磁石の保磁力を高めるために用いられるレアアース(希土類)の一種です。希少な上にその生産のほとんどを中国に依存しており、安定供給の確保に懸念がありました。この磁石を開発したことにより、必要なジスプロシウム量を削減することができ、限りある資源を効果的に使うことができます。

また、従来のリング磁石では難しかった高温下での高磁力化にも成功しました。これにより、車載用モータの小型化・高性能化のニーズにも応えられるようになります。

今後成長が見込まれる自動車用電動パワーステアリング市場を中心に、各種車載モータ、産業機器用モータ、OA・家電用モータ向けに、ダイドー電子が2010年秋からサンプル出荷を開始しました。

TOPIC 02 ステークホルダーに対する取り組み



当社の情報がよりわかりやすくなるよう、ホームページをリニューアルしました

2010年7月、ホームページをリニューアルしました。「見やすく」「使いやすく」「探しやすく」をモットーに、訪問者が見やすいレイアウトに変更しました。

株主・投資家情報、社会・環境活動コーナーを新設、製品画像も多数掲載しています。ぜひアクセスしてみてください。

TOPIC 03 企業



記者会見の様子

積極的な経営戦略を展開するため、社長交代による若返りを図りました

2010年6月、嶋尾正社長が就任しました。

「モノづくり力の強化」「顧客・市場との関係強化」「海外展開力の強化」という3つの経営基本方針を推進し、当社の経営理念である「21世紀社会に貢献する創造的、個性的な企業集団」を目指していきます。

TOPIC 04 ステークホルダーに対する取り組み



次世代育成、両立支援のための制度として『キャリア・リターン制度』を発足させました

出産や育児、介護、配偶者の転勤などのために退職された方を再雇用する「キャリア・リターン制度」を、2010年4月からスタートさせました。

これまで同様の制度はありましたが、再雇用後の勤務形態が嘱託やパートタイマーなどに限られていました。新制度では、再び正社員として勤務することが可能になりました。次世代育成やワークライフバランスの観点からも、一度離職の方が再びやりがいをもって働ける職場環境を整え、能力を発揮していただきたいと考えています。

TOPIC 05 環境負荷低減への取り組み



魂真の泉

水資源を有効利用し従業員へ良質な水を提供するため、知多工場に飲料水汲み場『魂真の泉』を設置しました

2010年夏、知多工場に飲料水汲み場『魂真(こんしん)の泉』が完成しました。この泉から湧き出る水を『魂水(たますい)』と命名し、各職場の飲料水として活用しています。工業用水を急速ろ過器と膜ろ過装置に通し、さらに滅菌処理をして、おいしい水に変えていきます。『魂真の泉』には、蛇口や壁面に「くじら」がデザインされたり水質の番人が金魚だったり楽しい趣向が施されており、工場内のオアシスとして人気を博しています。

TOPIC 06 社会貢献



出典：中央共同募金会

東北地方太平洋沖地震の被災者・被災地に対して義援金を寄付しました

東日本大震災被災地の一刻も早い復興と被災された方々への支援に役立てていただくため、大同特殊鋼グループは中央共同募金会(赤い羽根共同募金)に1億円を寄付しました。

TOPIC 07 CSR経営

独占禁止法
コンプライアンス・
マニュアル

より一層CSR経営を推進するため、コンプライアンスの強化に取り組みました

コンプライアンス体制強化のため、2010年度は以下の点に取り組みました。

- ・当社では、コンプライアンスの相談・通報窓口として「ホットライン」を設置しています。これまで、担当取締役、社外の弁護士、本社の担当部門を窓口としてきましたが、下期からは、各事業場にもホットライン窓口を設置し、相談・通報手段の拡充を図りました。また、メールでも受けつけることができるように、専用アドレスを設けました。
- ・2010年1月1日の独占禁止法改正を受け、「独占禁止法コンプライアンス・マニュアル」を改訂し、営業部門・調達部門に配布したほか、独占禁止法遵守に関する教育を再度実施しました。

大同特殊鋼グループの概要

会社概要 (2011年3月末現在)

会社名	大同特殊鋼株式会社
英文社名	Daido Steel Co., Ltd.
創業	1916年(大正5年)8月19日
設立	1950年(昭和25年)2月1日
社長	嶋尾 正
従業員数	3,239名(2011年3月末現在)
資本金	371億7,246万4,289円
発行済株式総数	4億3,448万7,693株
株主数	36,890名(2011年3月末現在)
主要株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
新日本製鐵株式會社	44,298	10.2
明治安田生命保険相互会社	20,759	4.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	18,246	4.2
株式会社みずほコーポレート銀行	15,543	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	14,058	3.2
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	13,504	3.1
本田技研工業株式会社	13,053	3.0
日本発條株式会社	12,697	2.9
トヨタ自動車株式会社	8,690	2.0
株式会社デンソー	8,000	1.8

(2011年3月末現在)

主要取引銀行 みずほコーポレート銀行、
三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行

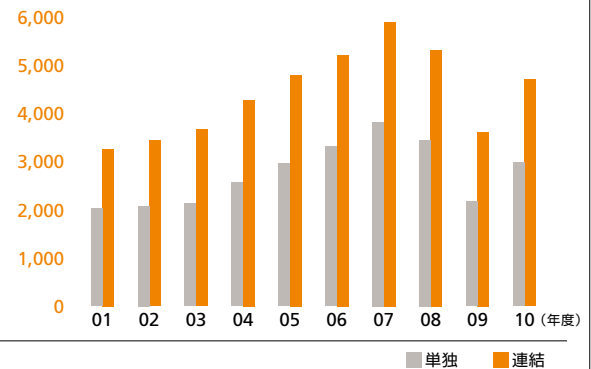
幹事証券 日興コーディアル証券、みずほ証券、
三菱UFJモルガン・スタンレー証券、
野村証券、大和証券キャピタル・マーケット
*日興コーディアル証券株式会社は、2011年4月1日付けでSMBC日興証券
株式会社となりました。

主要取引先

- <販 売> 日産自動車、本田技研工業、
トヨタ自動車、デンソー、三菱重工業、IHI
- <仕 入> 住友金属鉱山、三菱商事、中部電力、
三井物産、東邦ガス

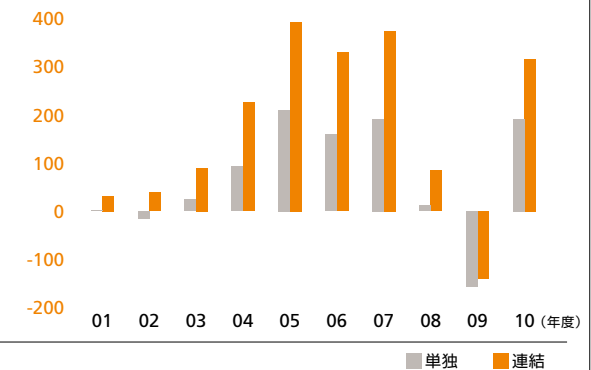
売上高

(億円)



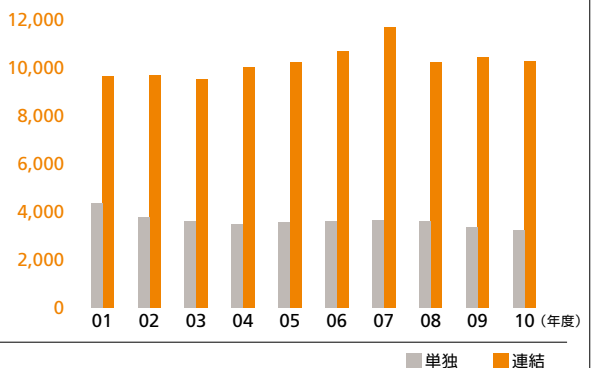
経常利益

(億円)



従業員数

(人)



関連会社一覧

会社名	従業員数(人)		売上高(円)		所在地	ホームページアドレス
	2011年3月末	2011年3月期	2011年3月期	2011年3月期		
特殊鋼鋼材						
日本精線(株)	700	317億			大阪市中央区高麗橋四丁目1-1	http://www.n-seisen.co.jp
下村特殊精工(株)	198	120億			千葉県市川市市川一丁目3-18 (明治安田生命市川ビル2F)	http://www.sts-shimomura.com
大同アミスター(株)	427	94億			大阪府大東市氷野三丁目152	http://www.amistar-e.com
大同マテックス(株)	65	43億			川崎市川崎区南町16-1 (朝日生命川崎ビル3F)	http://www.daidomatex.co.jp
天文大同特殊鋼(股)	133	20億(2010年12月期)			中華民国桃園県平鎮市大昌路1號	http://www.daidosteel.com.tw
DAIDO AMISTAR(S) PTE LTD	49	7億(2010年12月期)			No.21, Senoko South Road, Woodlands East, 758079, Singapore	—
DAIDO PDM(Thailand) CO., LTD.	150	21億(2010年12月期)			120 Moo 5, Wellgrow Industrial Estate, Bangna-Trad Road, KM.36, Bangsamak, Bangpakong, Chachoengsao 24180, Thailand	—
DAIDO AMISTAR(M) SDN. BHD.	65	6億(2010年12月期)			No.8, Jalan Perusahaan Utama, Taman Industri Selesa Jaya, Off Jalan Balakong, 43300 Selangor Darul Ehsan, West Malaysia	—
大同資材サービス(株)	32	207億			名古屋市中区大同町四丁目7	http://www.daido.co.jp/dsk/
大同エコメット(株)	114	45億			愛知県東海市元浜町39	http://www.d-ecomet.co.jp
大同テクニカ(株)	707	67億			愛知県東海市元浜町39	http://www.daido-technica.co.jp
丸太運輸(株)*	427	162億(2010年12月期)			名古屋市瑞穂区新開町22-20	http://www.maruta.co.jp
桜井興産(株)*	60	21億(2010年12月期)			名古屋市南区鶴見通三丁目3	http://www.sakuraikosan.co.jp
泉電気工業(株)*	45	24億(2010年12月期)			東京都墨田区業平四丁目8-1	http://www.izumidenki.com
理研製鋼(株)*	237	85億			東京都中央区京橋二丁目17-3(ヨシザワビル)	http://www.rkn.co.jp
川一産業(株)*	168	40億(2011年1月期)			川崎市川崎区扇町5-9	http://www.kawaichi.jp
東北特殊鋼(株)*	316	151億			宮城県柴田郡村田町大字村田字西ヶ丘23	http://www.tohokusteel.com
電子・磁性材料						
(株)ダイドー電子	143	65億			岐阜県中津川市茄子川1642-144	http://www.daido-electronics.co.jp
Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd.	794	32億			43 Moo 9, Rojana Industrial Park, Rojana Road, Tambol Tanuu, Amphur U-Thai, Ayutthaya 13210, Thailand	—
大同スペシャルメタル(株)	43	167億(2010年12月)			東京都港区港南一丁目6-35(大同品川ビル)	http://www.dsml.co.jp
自動車部品・産業機械部品						
フジオーゼックス(株)	527	154億			静岡県菊川市三沢1500-60	http://www.oozx.co.jp
(株)大同キャストिंगス	480	172億			名古屋市港区竜宮町10 大同特殊鋼(株)築地テクノセンター内	http://www.d-cast.jp
東洋産業(株)	73	48億			宮城県黒川郡大衡村大衡鍛冶屋敷16番地	http://www.ring-roll-toyo.co.jp
日本鍛工(株)	154	82億			兵庫県尼崎市大浜町二丁目1	http://www.j-d-f.co.jp
大同スターテクノ(株)	225	31億			群馬県渋川市石原500	—
日星精工(株)	82	24億			名古屋市南区丹後通二丁目1-3	http://www.nssy.co.jp
大同精密工業(株)	205	45億			東京都豊島区西池袋三丁目1-15 (西池袋TSビル3F)	http://www.daidoseimitu.co.jp
OHIO STAR FORGE CO.	86	35億(2010年12月期)			4000 Mahoning Avenue, PO Box 430, Warren, Ohio 44482-0430, U.S.A.	http://www.ohiostar.com
エンジニアリング						
大同マシナリー(株)	320	100億			名古屋市南区滝春町9	http://www.dm-daido.co.jp
大同環境エンジニアリング(株)	75	30億			名古屋市南区滝春町9	http://www.daido-kankyo.co.jp
大同プラント工業(株)	66	24億			名古屋市南区滝春町9	http://www.daido-plant.co.jp
流通・サービス						
大同興業(株)	333	2,408億			名古屋市東区東桜一丁目1-10 (アーバンネット名古屋ビル) (東京本社)東京都港区港南一丁目6-35 (大同品川ビル)	http://www.daidokogyo.co.jp
(株)大同ライフサービス	271	79億			名古屋市南区大同町四丁目7	http://www.daidolife.co.jp
(株)ライフサポート	172	18億			名古屋市南区大同町四丁目7	http://www.ls-lifesupport.co.jp/
木曾駒高原観光開発(株)	40	8億			長野県木曾郡木曾町日義4898-8	http://www.kisokoma.co.jp
(株)大同分析リサーチ	110	14億			名古屋市南区大同町二丁目30 大同特殊鋼(株)研究開発本部内	http://www.daido.co.jp/dbr/
Daido Steel (America) Inc.	9	38億(2010年12月期)			1111 Plaza Drive, Suite 740, Schaumburg, Illinois 60173, U.S.A.	http://www.daidosteel.com
(株)スターインフォテック	185	36億			名古屋市南区滝春町9	http://www.d-sit.co.jp

無印：連結子会社 *：持分法適用会社



本 社

〒461-8581 名古屋市東区東桜一丁目1番10号(アーバンネット名古屋ビル)
TEL: 052-963-7501 FAX: 052-963-4386

東京本社

〒108-8478 東京都港区港南一丁目6番35号(大同品川ビル)
TEL: 03-5495-1253 FAX: 03-5495-6733

